

# 第8回愛広協実践広告ワークショップ

愛知大学 経営学部 会計ファイナンス学科 丸山蓮

# 株式会社メニコン課題テーマ

「みる・みえる・みせる・みられる」  
の観点から、  
五感に訴求する  
「みる」の感動を提案せよ

## 課題テーマを聞いたときの私



# そもそも私にとって「みる」とは？

- 外部の情報の87%を視覚から得ている。
- 日常において当たり前に行えること。
- 当たり前だからこそ、その「ありがたさ」にいまいち気づけていない。

# では「みる」の感動を提供するには？

- そもそも人間というのは、一度失わないとその「ありがたさ」には気づけない生き物。
- 「自分ごと」にならない限り、真の意味での感動は生まれない。
- グラフィックだけでは、五感全てに対する訴求は難しい。

そこで、

「自分ごと」になる体験型施設をつくろう！

その名も、

「メルスプラネタリウム」

# 「メルスプラネタリウム」とは？

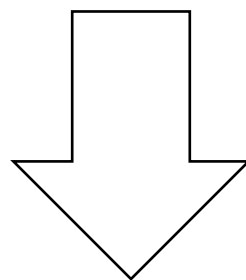
- 4 DXを使ったプラネタリウム施設。
- メルスプラン会員限定（非会員一名まで同伴可）
- テーマ「ずっと輝く星には、ずっと輝く瞳を。」
- 「みる」の感動を提案すると同時に、メルスプランの宣伝にも繋がる。
- 体験型施設のため、「自分ごと」になる。



# 4DXとは？

映像に合わせて座席稼働や環境効果が体験できる技術。

効果は「前後上下左右への動き」「背中への衝撃」「地ひびき」「耳・首筋へのエアー」「足元に何かに触れるような感覚」「風」「水」「霧」「雨」「嵐」「雪」「香り」「煙」「フラッシュ」「バブル」「熱風」など。



**五感に対する訴求に最適！**

# 「メルスプラネタリウム」の流れ

## ①入場

- 入口でメルスプラン会員情報を提示し入場。（非会員一名まで同伴可）
- メニゴーグルとメニコインを配布。



メニゴーグル



メニコイン

# 「メニゴーグル」とは？

- 装着することによって視力0.01の世界を体感できるゴーグル。
- 「みる」の感動を提供する上で欠かせない道具。



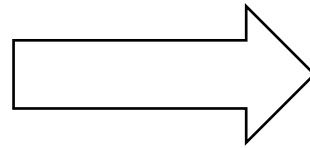
メニゴーグル

# 「メニコイン」とは？

- メニコインを使って専用の自動販売機でドリンクが買える。
- ただし、何が出てくるか分からない。
- ペットボトルも真っ黒で何が入っているか分からない。
- 何が入っているか分からないものを飲むことによって、4D技術で補いきれない**味覚を刺激**。



メニコイン



# 「メルスプラネタリウム」の流れ

## ② プラネタリウム（前半）

- 入口で貰ったメニゴーグルを装着し、視力0.01の世界へ。
- 視力0.01の状態ですプラネタリウムを鑑賞。
- 4DXによって、**聴覚、嗅覚、触覚を刺激。**
- 視力0.01のせいで何が起きているのかよく分からない。

例) 前半

# 「メルスプラネタリウム」の流れ

## ③プラネタリウム（後半）

- メニゴーグルを外す。
- 元の視力でプラネタリウムを鑑賞。
- 4DXによって、**視覚、聴覚、嗅覚、触覚を刺激。**
- 視力が解放されたことにより初めて感動が生まれる。





メニコン公式キャラクター『メル助』の星座も登場！



# 『メル助』の星座

- 非会員が『メル助』の星座の写真を撮ってメルプランに申し込めば、なんと**初月費が無料に！**
- ネットで画像が出回り不正な申し込みが発生しても、結果的に「潜在顧客」の獲得に繋がる。

人々が楽しみながら「みる」の感動を体験でき、メルスプランの顧客拡大にも繋がる。

それが、

**「メルスプラネタリウム」**

です。

ありがとうございました。